

第2期 橋本市

子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査(案) (小学生用)

調査の趣旨とご協力のお願い

橋本市では、市民のみなさまのご理解とご協力を得ながら、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、橋本市子ども・子育て支援事業計画(平成27年度～31年度)に基づきさまざまな施策を展開してまいりました。

このたびお配りしましたアンケート調査は、2020度からの新たな事業計画を策定するにあたり、現在子育て中のみなさまの子育て支援サービスの利用状況やこれから期待することについて、ご意見等をお聞かせいただき、今後の子育て支援施策を進める上での参考資料とすることを目的としています。お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月

橋本市

★ご記入にあたってのお願い★

1. このアンケートは、市内在住の小学校のお子さんの保護者にお願いするものです。平成30年12月1日現在の状況でお答えください。
2. この調査票は、小学校のお子さんすべての状況を回答する形式となっています。
※同様の趣旨で就学前のお子さんを対象とした調査も実施しています。
3. ごきょうだいがおられる世帯では、ご回答は年齢が下のお子さんを対象にお願いいたします。

回収期限: **2月8日(金)**

提出方法は下記をご参照ください。

- 小学校で調査票を受け取った方 ⇒ 回収用封筒に入れ配布された小学校にご提出ください。
- 郵送で調査票を受け取った方 ⇒ 返信用封筒に入れ切手を貼らずに郵送でご返送ください。

★この調査に関するお問い合わせは、
右記までお願いいたします。

橋本市 健康福祉部 こども課

電話: 0736-33-6102(直通)

お住まいの地域についておうかがいします

問1 ご自宅の郵便番号をご記入ください。

□に数字を記入

〒

6	4	
---	---	--

 -

--	--	--	--

ご家族の状況についておうかがいします

問2 お子さんの生年月ときょうだいの人数（ご本人を含む）をご記入ください。

()に数字を記入

平成()年()月生まれ

きょうだい数:()人

問3 この調査票にご回答いただく方は、お子さんからみてどなたですか。またご回答いただくかたの年齢もあわせてご記入ください。

1つに○、()に数字を記入

1. 母親

2. 父親

3. その他〔 〕

年齢 () 歳

問4 ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

1つに○

1. 配偶者（夫や妻）がいる

2. 配偶者はいない

問5 ご家族の世帯構成と、同居している家族数についてご記入ください。

1つに○、()に数字を記入

1. 二世帯（親、子） 2. 三世帯（祖父母、親、子） 3. その他（ ）

同居している家族の人数 () 人

問6 お子さんの子育て（教育）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

1つに○

1. 父母ともに

3. 主に父親

5. その他〔 〕

2. 主に母親

4. 主に祖父母

保護者の仕事の状況についておうかがいします

問7 保護者の方の現在の就労状況（自営業、家事従事者含む）と1年以内の予定や希望（どうしたいか）をお答えください。

それぞれ1つに○

※ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。（以下、同）

		フルタイムで働いている (働きたい)	フルタイムで働いているが産休・育休・介護休暇中である	パートタイムなどで働いている (働きたい)	パートタイムなどで働いているが産休・育休・介護休暇中である	専業主婦(夫)
現在の状況	(1)母親	1	2	3	4	5
	(2)父親	1	2	3	4	5
1年以内の希望・予定	(1)母親	1	2	3	4	5
	(2)父親	1	2	3	4	5

※「上記1・2・3・4」に○をつけた方におうかがいします。
※産休・育休・介護休暇中の方は休暇に入る前の状況でお答えください。

() に数字を記入

※時間は24時間制でお答えください。（例 8時、18時）

		1日の時間	週の日数	出勤時刻	帰宅時刻
現在の勤務状況	(1)母親	() 時間	() 日	() 時	() 時
	(2)父親	() 時間	() 日	() 時	() 時
希望の勤務状況	(1)母親	() 時間	() 日	() 時	() 時
	(2)父親	() 時間	() 日	() 時	() 時

問8 昨年（2017年）のあなたの世帯の家族全員の収入の合計額（手取り収入）をお答えください。

※ 単身赴任などのために一時的に別居している方も含みます。

※ 収入は、税金や社会保険料を払った後の額でお答えください。

1つに○

※ 株式配当などの副収入、公的な援助・手当や養育費・仕送りを含めて合計してください。

- | | | |
|----------------|---------------------|---------------------|
| 1. 50万円未満 | 7. 500～600万円未満 | 13. 1,100～1,200万円未満 |
| 2. 50～100万円未満 | 8. 600～700万円未満 | 14. 1,200～1,300万円未満 |
| 3. 100～200万円未満 | 9. 700～800万円未満 | 15. 1,300～1,400万円未満 |
| 4. 200～300万円未満 | 10. 800～900万円未満 | 16. 1,400～1,500万円未満 |
| 5. 300～400万円未満 | 11. 900～1,000万円未満 | 17. 1,500万円以上 |
| 6. 400～500万円未満 | 12. 1,000～1,100万円未満 | |

放課後や休日の過ごし方についておうかがいします

問9 お子さんについて、放課後や休日を主にどのような場所で過ごしていますか。それぞれ過ごしている週当たり日数をご記入ください。過ごす頻度の少ないもの（月数回程度）は除外してください。

あてはまるすべてに○,()に数字を記入

1. 保護者や祖父母などの同居家族(大人)と過ごす	週 ()日くらい
2. 兄弟姉妹などの同居家族(子ども)と過ごす	週 ()日くらい
3. 家、公園などで友達と過ごす	週 ()日くらい
4. 小学校にいる(遊びなど)	週 ()日くらい
5. 放課後児童クラブ(学童保育) ※1	週 ()日くらい
6. 児童館・子ども館	週 ()日くらい
7. 公民館・図書館	週 ()日くらい
8. 子ども会やスポーツ活動などに参加している	週 ()日くらい
9. 学習塾や習い事に行く	週 ()日くらい
10. 家でひとりで過ごす	週 ()日くらい
11. 同居していない家族(親族)や知人宅で過ごす	週 ()日くらい
12. ふれあいルーム(放課後子ども教室) ※2	週 ()日くらい
13. ファミリー・サポート・センター	週 ()日くらい
14. 放課後等デイサービス ※3	週 ()日くらい
15. その他〔 〕	週 ()日くらい

※1 放課後児童クラブ「学童保育」

保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※3 放課後等デイサービス

就学中の障がいをもつ子どもが、放課後や夏休みなどにおいて、生活能力向上のための訓練等を提供することにより、自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを行います。利用するには市で発行される通所受給者証が必要になります。

※2 ふれあいルーム(放課後こども教室)

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 10 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇中どのような場所で過ごしていますか。それぞれ過ごしている週当たり日数をご記入ください。過ごす頻度の少ないもの（月数回程度）は除外してください。

あてはまるすべてに○、()に数字を記入

1. 保護者や祖父母などの同居家族(大人)と過ごす	週 () 日くらい
2. 兄弟姉妹などの同居家族(子ども)と過ごす	週 () 日くらい
3. 家、公園などで友達と過ごす	週 () 日くらい
4. 小学校にいる(プールなど)	週 () 日くらい
5. 放課後児童クラブ(学童保育)	週 () 日くらい
6. 児童館・子ども館	週 () 日くらい
7. 公民館・図書館	週 () 日くらい
8. 子ども会やスポーツ活動などに参加している	週 () 日くらい
9. 学習塾や習い事に行く	週 () 日くらい
10. 家でひとりで過ごす	週 () 日くらい
11. 同居していない家族(親族)や知人宅で過ごす	週 () 日くらい
12. 地域ふれあいルーム(放課後子ども教室)	週 () 日くらい
13. ファミリー・サポート・センター	週 () 日くらい
14. 放課後等デイサービス	週 () 日くらい
15. その他[]	週 () 日くらい

問 9・10 において放課後児童クラブ(学童保育)で過ごしている方におうかがいします。

問 11 現在の利用時間と今後の利用希望時間をご記入ください。

※時間は 24 時間制でお答えください。(例 8時、18時)

いずれかに○、()に数字を記入

	現在の利用時間	利用希望時間
1. 平日の放課後	()時から()時まで	()時から()時まで
2. 土曜日	()時から()時まで	()時から()時まで
3. 夏休み・冬休み など長期休暇中	()時から()時まで	()時から()時まで

地域の子育て支援事業の利用状況についておうかがいします

問 12 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

	A	B	C
	知っている いずれかに○	これまでに利用 したことがある いずれかに○	今後利用した い いずれかに○
1. 教育相談センター ※1	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
2. 青少年センター ※2	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
3. スクールカウンセラー(SC) ※3	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
4. スクールソーシャルワーカー(SSW) ※4	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
5. ファミリー・サポート・センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
6. 家庭児童相談室(こども課内)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
7. 橋本市図書館	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
8. ふれあいルーム(放課後子ども教室)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
9. 子育てガイド「子育てのびの〜び」(子育て情報誌)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
10. 橋本市子育て情報サイト はぴもと ※5	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
11. 家庭教育情報誌「げんきっこfamily」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
12. 子育て世代包括支援センター(ハートブリッジ) ※6	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
13. こども食堂 ※7	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
14. 児童虐待防止 市民向け研修会	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
15. 子どもの発達相談	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
16. 和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの相談事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

※1 教育相談センター

学校・家庭、社会生活において悩みを持つ子どもや親等に適性や相談助言を行い学校教育を援助します。

※2 青少年センター

学校・家庭・地域・職場から少年の教育や非行、いじめ等に関する相談や子どもメール相談とに関する助言、指導また、招致指導

※3 スクールカウンセラー(SC)

学校での困りごとを抱えている子どもと家族を支えるためのアドバイスや周囲への働きかけを行う専門職

※4 スクールソーシャルワーカー(SSW)

小中学校をベースに子どもをとりまく家庭環境や生活している地域の特性などを把握し、それぞれが抱かえる課題を福祉の専門性を活かして解決をめざす専門職

※5 橋本市子育て情報サイト はぴもと
橋本市ホームページにおいて子育て情報を掲載しています。HAPPY をもっと！
＝はぴもと。橋本市の子ども達の笑顔がいっぱいです

※6 子育て世代包括支援センター(ハートブリッジ)

妊娠前から18歳までの子どもとその保護者を対象とする様々な不安や悩み、困りごとの総合相談窓口です。

※7 こども食堂

地域住民や自治体が主体となって無料または低料金で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場

ケガや病気の際の対応についておうかがいします

問 13 この一年間にお子さんがケガや病気で学校を休んだことはありますか。

1つに○

1. あった

2. なかった

問 13で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 けがや病気で普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合にどう対処されましたか。それぞれの日数もお答えください。

あてはまるすべてに○、() に数字を記入

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	() 日
2. 母親が休んだ	() 日
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
5. ベビーシッターを利用した	() 日
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
8. 配偶者が専業主婦(夫)のため自宅療養した	() 日
9. その他[]	() 日

不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について おうかがいします

問 14 お子さんについて、病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で
時々利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）も
ご記入ください。

あてはまるすべてに○、()は数字を記入

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり(ショートステイ事業など)	()日
2. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かるサービス)	()日
3. 夜間養護等事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護するサービス)	()日
4. ベビーシッター	()日
5. その他[]	()日
6. 利用していない	

問 14 で「6. 利用していない」と回答した方におうかがいします。

問 14-1 現在利用していない理由は何ですか。

あてはまるすべてに○

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がわからない
2. 利用したい事業が地域にない	7. 自分が事業の対象者になるのかどうかかわらない
3. 地域の事業の質に不安がある	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	9. その他[]
5. 利用料がかかる・高い	

問 15 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

※ なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

あてはまるすべてに○、() に数字を記入

1. 利用したい	計 () 日
ア.私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	() 日
イ.冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	() 日
ウ.不定期の就労	() 日
エ.その他()	() 日
2. 利用する必要はない	

問 16 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。

あてはまるすべてに○、() に数字を記入

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	() 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	() 泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他[]	() 泊
2. なかった		

問 16で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 16-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

いずれかに○

1. 非常に困難

2. どちらかというと困難

3. 特に困難ではない

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
 おうかがいします

問 17 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

いずれかに○、()に数字を記入

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由を下の1～15 から お選びください(いくつでも可)	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由を下の1～15 から お選びください(いくつでも可)
()	()

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

過去に育児休業を取得された事がある方におうかがいします。

問 17-1 育児休業から職場復帰した時に、短時間勤務制度を利用しましたか。

いずれかに○

母親	父親
1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きた かった、もともと短時間勤務だった)	1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きた かった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用でき なかった)	3. 利用したかったが、利用しなかった(利用でき なかった)
4. 育児休業中に離職した	4. 育児休業中に離職した

すべてのみなさんにおうかがいします

問 18 あなたの世帯の、現在の経済的な暮らし向きについては、いかがですか。

いずれかに○

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1 大変苦しい | 3 普通 | 5 大変ゆとりがある |
| 2 やや苦しい | 4 ややゆとりがある | |

問 19 この1年間に経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣服が買えなかったことがありましたか。

いずれかに○

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 毎週あった | 3 年に1～3回はあった |
| 2 月に1～3回はあった | 4 なかった |

問 20 あなた自身は日頃、子育てをどのように感じていますか。

それぞれ、いずれかに○

子どもと過ごす楽しさや幸福感	1 いつも感じる	2 時々感じる	3 あまり感じない	4 全く感じない
子どもの成長や接し方の不安感	1 いつも感じる	2 時々感じる	3 あまり感じない	4 全く感じない
自身の体力的な不安感	1 いつも感じる	2 時々感じる	3 あまり感じない	4 全く感じない
自身の精神的な不安感	1 いつも感じる	2 時々感じる	3 あまり感じない	4 全く感じない
経済的な負担感	1 いつも感じる	2 時々感じる	3 あまり感じない	4 全く感じない

問 21 お子さんは塾や習い事など利用していますか。

いずれかに○

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問 21 で「2. 利用していない」と答えた方におうかがいします。

問 21-1 理由をお答えください。

あてはまるすべてに○

1 まだ行かせる必要がない
2 学校での学習をきっちりがんばれば、行く必要はない
3 行かせたいが送迎の都合がつかない
4 行かせたいが経済的に負担が大きい
5 子どもが行きたがらない

問 22 お子さんにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何ですか。

あてはまるすべてに○

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 給食費等の学校の諸経費 | 7 スマートフォン等の通信料金 |
| 2 学校の辞書・習字道具等の教材購入費 | 8 バスや電車等の交通費 |
| 3 学校の部活動にかかる費用 | 9 医療費 |
| 4 制服・体操服等の購入費 | 10 その他〔 〕 |
| 5 学習塾や習い事にかかる費用 | 11 特に負担を感じるものはない |
| 6 ゲームやスポーツ用品の購入費 | |

問 23 本市における様々な支援制度についてご存知ですか。

知っているものに○

※制度によっては、所得制限があります。

1 就学援助費	要保護児童援助費・準要保護児童援助費)(経済的な理由で就学が困難な小・中学校児童の生徒の保護者に学用品費・給食費・医療費などの援助費を支給)
2 乳幼児・小中学生医療費助成	小学校就学前の乳幼児から中学校終了までの児童の保険診療にかかる医療費の全部または一部の助成
3 児童手当	中学校就学までの子を養育する人への援助
4 紀州3人っ子施策	小学生以下の子を3人以上養育している人が一時的な育児支援を利用する際に要する費用の一部を援助
5 児童扶養手当	18歳未満の児童を扶養している父又は母に支給 所得や家庭の事情で受給状況がかわる
6 特別児童扶養手当	中度以上の障がいのある子を監護する親、代わりに養育する方に、子が20歳まで支給
7 ひとり親家庭医療費助成	18歳未満の児童を扶養しているひとり親家庭の父、又は母とその子どもの医療費を助成
8 母子及び父子並びに寡婦福祉資金	子どもの修学資金や就職支度資金、住宅資金など母子家庭の母や子ども及び父子家庭の父や子どもが資金を借りることができる
9 自立支援教育訓練給付	職業訓練講座を受講する母子家庭の母又は父子家庭の父に対し支給される。
10 高等職業訓練促進給付	就業に結びつきやすい資格を取得するために、養成機関で受講する母子家庭の母又は父子家庭の父に対し支給

問 24 お住まいの地域における子育ての環境への満足度・楽しさ・大変さについてうかがいます。

それぞれ、いずれかに○

満足度が低い	←	→	満足度が高い
1	2	3	4
子育てが楽しくない	←	→	子育てが楽しい
1	2	3	4
子育てが負担と感じる	←	→	子育てが負担と感じない
1	2	3	4

問 25 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問 26 最後に、現在の教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

* 調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

* 郵送で調査票を受け取った方は、切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れ、**2月8日(金)**までにご投函ください。

